

# 小沢氏 国会招致を拒否

## ネット番組 幹事長会談も否定的

民主党の小沢一郎元代表は三日、都内でイ

ンターネットサイト「ニコニコ動画」の公開生中継に出演し、野党が求める国会招致について「必要ない」と拒否する考えを明言、岡田克也民主党幹事長との会談に関しても否定的な見解を示した。招致実現に努力すると野党に約束した岡田氏に真っ向から反対する姿勢が波紋を呼ぶのは必至。国会終盤に向け野党の態度硬化を招く可能性もある。―関連

### ②面

小沢氏は招致について「司法手続きに入っているので、三権分立の立場からすれば立法府で議論するのは基本的に妥当ではないし、必要でもない」と述べた。

岡田氏との会談を拒む理由は「まずは党が野党の招致要求への対

応を決めなくてはなら

ない。岡田氏一人が決める話ではない」とし、「政治倫理審査会に出るべきだという議論を前提に話をするのは違うのではないか」と述べた。

自身の去就に関する「何もやましいことはないので、今後も政治活動は続けていきたい」と強調。「民主党内にいっぱい支持してくれる人がいるから、党を出る必要はない。民主党政権を成功させることに全力を尽くす」と決意を表明した。

中国漁船衝突事件をめぐる政府の対応について「私が政府の責任者なら船長を釈放しない。役人が政治状況を考慮したのはいけない」との政権批判を繰

り返した。

小沢氏が公の場で発言するのは検察審査会の強制起訴議決を受けた直後の十月七日以来で、約一時間半出演した。党や国会への説明よりも外部メディアへの対応を優先させたとの指摘には「ネット番組は意見も反論も言える仕組みなので、多くの方に分かってもらえらると思って出演要請を快く受けた」と反論した。

## 小沢氏招致拒否

# 岡田氏と対立決定的

## 野党反発確実 補正審議に暗雲

民主党の小沢一郎元代表が三日、インターネット番組で、野党が求める国会招致を拒否する意向を鮮明にしたことで、野党側に招致への努力を約束した岡田克也幹事長との対立は決定的になった。

(原田悟)

小沢氏がこれまでの「沈黙」を破って、自らの態度を表明した背景には、岡田氏が二日の与野党幹事長会談で、小沢氏招致に関し「今国会中の実現に努力し

たい」と表明したことがある。公明党などは岡田氏の発言を評価しており、このままでは、国会招致が既定路線化しかねないとの警戒感が見え隠れする。

民主党執行部は、衆院政治倫理審査会（政倫審）への出席を要請する方向。だが、小沢氏サイドにすれば「出て説明しても、野党が納得するはずがない。

結局は証人喚問を要求される」（側近議員）との思いがある。

岡田氏が記者会見で、会談に応じない小沢氏の姿勢を批判したことにも不満が募っていたとみられ「岡田氏が一人で決める話ではない」と切り捨てた。執行部としては、二〇一〇年度補正予算案

成立に向け、野党側との協調路線を取ろうとしているところへ、いきなり冷水を浴びせられた格好だ。

岡田氏との会談すら事実上拒まれたことで、招致問題は完全に暗礁に乗り上げ、執行部は調整力の乏しさを印象付けた。小沢氏の発言に野党側が反発するのは確実。審議が行き詰まれば、政権に赤信号がともることになる。

一方、かたくなな姿勢をみせる小沢氏に、党内の批判が噴出し、そうな気配だ。これまで執行部は処分問題を棚

上げし、招致の対応を優先してきたが、議論が再燃する可能性もある。



インターネットサイト「ニコニコ動画」の公開生中継に出演した民主党の小沢元代表が三日午後、東京都千代田区で

上げし、招致の対応を  
優先してきたが、議論  
が再燃する可能性もあ  
る。



インターネットサイト「ニコニコ動画」  
の公開生中継に出演した民主党の小沢元  
代表⑤ 3日午後、東京都千代田区で

## 小沢氏ネット発言要旨

【野党の国会招致要  
求】司法手続きに入っ  
ているので、三権分立  
の立場からすれば立法  
府で議論するのは基本  
的に妥当ではないし、  
必要もない。

【岡田幹事長との会  
談】まずは党が（野党  
の招致要求への）対応  
を決めなくてはならな  
い。岡田氏一人が決め  
る話ではない。政治倫  
理審査会に出るべきだ  
という議論を前提に話  
をするのは違つのでは  
ないか。

【環太平洋連携協定

（TPP）】私は基本  
的には自由貿易論者  
だ。考え方は賛成だ  
が、国内のセーフティ  
ーネットを整備しない  
でやるとごちゃごちゃ  
になる。無防備に賛成  
というのはいけない。  
国民全体が不安にな  
る。

【去就】何もやまし  
いことはないので、今  
後も政治活動は続けて  
いきたい。民主党内に  
いっぱい支持してくれ  
る人がいるから、党を  
出るのは必要はない。民主  
党政権を成功させるこ

とに全力を尽くす。

【中国漁船衝突事  
件】私が政府の責任者  
なら船長を釈放しな  
い。役人が政治状況を  
考慮したのは本当にい  
けない。国内的にも禍  
根を残した。中国に対  
しても良くない。

【政権批判】政権を  
経験したことがない人  
が多い。自分で責任を  
取らなければならぬ  
場面が野党と違って数  
多くある。

【番組出演】意見も  
反論も言える仕組みな  
ので、多くの方に分か  
ってもらえると思って  
出演要請を快く受け  
た。

# 検察の在り方会議、発足

大阪地検特捜部の証  
春をめどに、検察再建  
に向け具体的な方策  
を受けて柳田稔法相が設  
置を表明した、外部有  
識者による第三者機関

「検察の在り方検討会  
議」(座長・千葉景子  
前法相)が四日、発足  
した。法相の私的諮問  
機関の位置付けで、十  
日に初会合を開き、来

委員は座長を含め十

れるのは郷原信郎元東  
京地検特捜部検事、ジ  
ャーナリストの江川紹  
子さん、ロッキード事  
件やリクルート事件で  
検者も名を連ねた。

弁護士を務めた石田省  
三郎弁護士ら。一方、  
但木敬一元検事総長、  
国の司法制度改革を推  
進してきた宮崎誠前日  
弁連会長、龍岡資晃元  
福岡高裁長官ら要職経

## 「検察の在り方検討会議」の委員

| 座長    | 千葉 景子 (前 法 相) |           |
|-------|---------------|-----------|
|       | 士(授)          | 護(士)      |
| 石田省三郎 | (大東大)         | (大東大)     |
| 井上川   | (東京地検特捜部)     | (東京地検特捜部) |
| 郷原藤   | (一橋大)         | (一橋大)     |
| 後佐藤   | (警察庁)         | (警察庁)     |
| 高橋    | (大SFC研究所)     | (大SFC研究所) |
| 但木    | (元福岡高裁)       | (元福岡高裁)   |
| 龍岡    | (元東京高裁)       | (元東京高裁)   |
| 原宮    | (元前住友)        | (元前住友)    |
| 諸吉    | (作)           | (作)       |
| 委員    | 郎仁子昭彦         | 俊敬資国      |
|       | 英信俊敬資国        | 光熙子       |
|       | 三正紹信          | 光熙子       |
|       | 石田省三郎         | 光熙子       |
|       | 井上川           | 光熙子       |
|       | 郷原藤           | 光熙子       |
|       | 後佐藤           | 光熙子       |
|       | 高橋            | 光熙子       |
|       | 但木            | 光熙子       |
|       | 龍岡            | 光熙子       |
|       | 原宮            | 光熙子       |
|       | 諸吉            | 光熙子       |

※敬称略、五十音順